

## 省エネはエネルギー使用量の「見える化」から

省エネをどのように推進するか。それぞれの事業所毎に省エネ計画を立案する必要があります。そのためには、「エネルギー使用量の『見える化』」とその分析、そこから導き出した省エネ対策の実行が不可欠です。

省エネの第一歩はエネルギー使用量の『見える化』が基本です。

エネルギー使用量を見る化する



会社全体のエネルギー使用量の算出・可視化

引用:資源エネルギー庁ウェブサイト

省エネに取り組む上で、エネルギーをどのくらい使用しているのか、現状を把握することが第一歩となります。算定ツールを活用することでエネルギー種別の使用量や電気使用量をグラフにし、見える化することができます。



◆ 算定ツールについて、無料で提供されているツールを紹介します ◆

日本商工会議所 CO2チェックシート(下記事例) <https://eco.jcci.or.jp/checksheet>

(一財)省エネルギーセンター セルフ診断ツール(<https://www.shindan-net.jp/selfcheck/>) 他、経済産業省の「中小企業支援機関によるカーボンニュートラル・アクションプラン」に登録している事業者など、この他にも算定ツールを提供している事業者もいます。

見える化  
Point!

1 企業名、電気事業者、グラフ化する項目、主な時間帯などを入力。

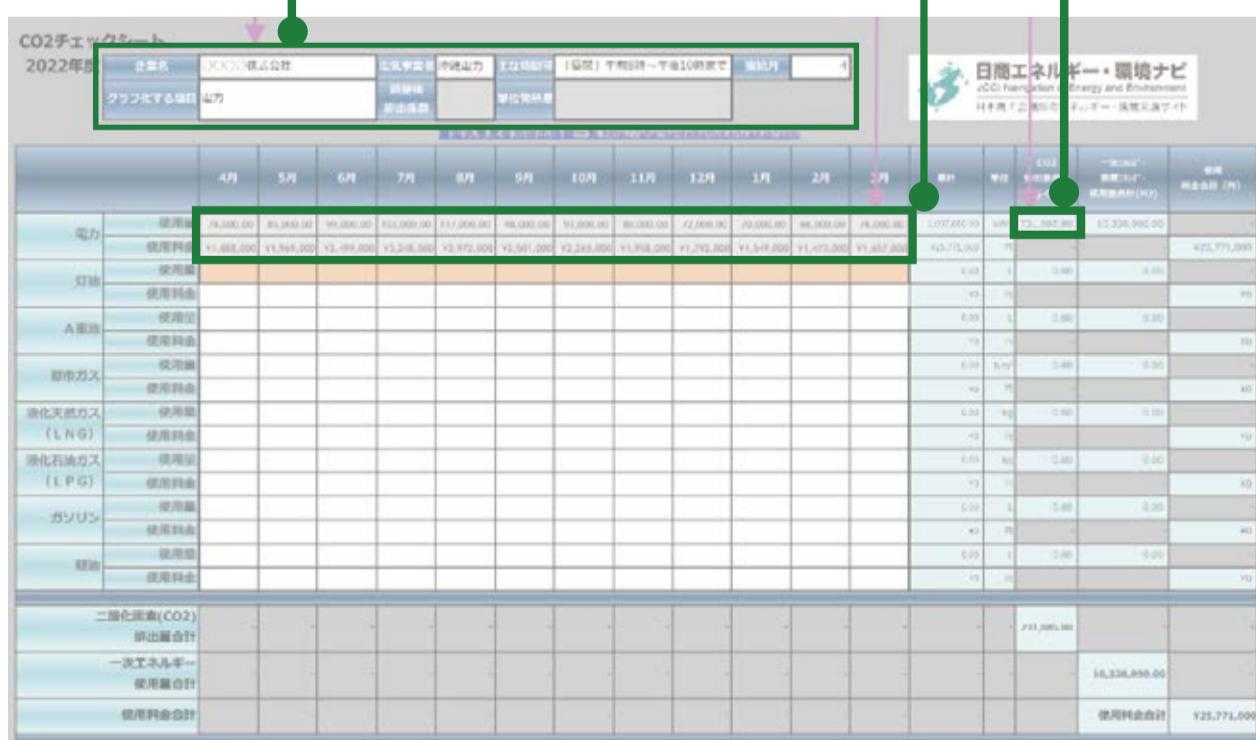
2 ここに、毎月の電力使用量と使用料金を記入

3 CO2排出量の合計値(kg-CO2)が表示されます。

4

グラフを作成しよう!

自動的に月ごとの「電力使用量グラフ」や「コスト削減・CO2排出削減シミュレーショングラフ」が作成されます。



引用:日商エネルギー・環境ナビCO2チェックシート(日本商工会議所)